

②「いつも気をつけよう」・「たいせつ」一覧（書くこと）

<p>一年 二年</p>	<p>○字を、正しく書く。 ○丸（ ），点（ ），かぎ（「」）を正しく使う。 ○「は」「を」「へ」を正しく使う。 ○読む人に伝わるように、くわしく書く。 ○くみ立てを考えて書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>【たいせつ】かんさつしたことを書く ・見たり、さわったりして、ていねいにかんさつし、くわしく書く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>【たいせつ】くみ立てを考えて書く ・「はじめ」「中」「おわり」のくみ立てで書く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>【たいせつ】お話を書くとき ・「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに気をつけて書く。 ・じんぶつがしたことや言ったことが、分かるように書く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>【たいせつ】書いたものを読みかえす ・書いたものは読みかえして、まちがいがなにかたしかめる。 ・声に出して読んでみると、まちがいが、読みにくいところを見つけることができる。</p> </div> </div>
<p>三年</p>	<p>○文字を正しく書く ○丸（ ），点（ ），かぎ（「」）を正しく使う。 ○「は」「を」「へ」を正しく使う。 ○じゅんじょに気をつけて書く。 ○調べたことをほうこくする文章を書くときは、次のような組み立てで書く。調べたきっかけや理由／調べ方／調べて分かったこと・考えたこと／感想 ○手紙を書くときは、だれに、何を伝えるのかをはっきりさせて書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】ざいりょうを集めてほうこくする文章を書く ・調べたことをほうこくする文章は、次のような組み立てで書く。 調べたきっかけや理由／調べ方／調べて分かったこと／かんそう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】手紙でつたえる ・手紙は、次のことをはっきりさせて書く。 だれにつたえるのか。／どんなことをつたえるのか。／どんな言葉づかいにすればよいか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】分かりやすい文章を書く ・ないようのまとまりごとに、段落を分ける。 ・れいをあげて書くと、読み手にないようが分かりやすくなる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】「はじめ」「中」「終わり」の組み立てで物語を書く。 ・物語は、次のような組み立てで、ないようを考えて書く。 はじめ—物語の始まり（時・場所・人物） 中—出来事（事件）とその解決。 終わり—物語のむすび。（登場人物はどうなるのか）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】本で調べて書く ・目次やさくいんを活用して本を使って調べ、分かりやすく書く。 ・どの本で調べたかが後で分かるように、筆者名（かんしゅう者名）・書名・出版社名・発行年をきろくする。</p> </div> </div>
<p>四年</p>	<p>○相手と目的をはっきりさせる。 ○書こうとする内容に合わせて、取材のしかたを選ぶ。 ○文章の組み立てを考える。 ○説明する文章を書くときは、内容のまとまりごとに段落を分けたり、必要におうじて例を挙げたりして書く。 ○「です・ます」と「だ・である」が交ざらないようにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【たいせつ】調べたことを整理して、新聞を作る ○取材をするとき ・調べる内容に合わせて、取材のしかたを選ぶ。 ・事実を正しくつたえるために、取材メモは大事なことを落とさず、正確に取材メモを取る。 ○新聞を作るとき ・写真や図表を組み合わせた見出しを工夫したりして、分かりやすい記事を書く。 ・伝えたいことに合わせて、わりつけを考える。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【たいせつ】自分の考えがはっきりとつたわるように書く 次のような組み立てで書くと、自分の考えが、読む人にはっきりとつたわりやすい。 〈初め〉自分の考えの中心を書く。 〈中〉理由とそれに関係する事例を、内容のまとまりごとに、段落を分けて書く。 〈終わり〉もう一度、自分の考えの中心を書く。 いくつかの考えがあって、その中からどれがよいかを選んで書くときには、それぞれのよいところをあげるなどして、よくくらべて考えるとよい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【たいせつ】説明のしかたを工夫して書く ・内容のまとまりごとに段落を分ける。 ・内容に合う写真をそえたり、具体例をあげたりすると、読み手に分かりやすい文章になる。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【たいせつ】本で調べて、ほうこくする ・複数の本に当たり、問いの答えになる事柄を集める。 ・集めたことを整理し、調べて分かったこと読む人にはっきり伝わるように書く。 ・本から引用するときは、元の言葉や文章をそのまま使い、他とは区別する。 ・使った本は、ほうこく書の最後に書く。</p> </div>
<p>五年</p>	<p>○相手と目的を明確にし、書こうとする内容に合わせて取材する。 ○文章の組み立てを考える。 ○説明する文章を書くときは、内容のまとまりごとに段落を分けたり、必要に応じて例を挙げたりして書く。 ○必要に応じて、写真や図表を組み合わせて書く。 ○考えを伝える文章を書くときは、初めと終わりに考えの中心を書くなどする。 ○書いたものは読み返して、まちがいを正したり、分かりやすくしたりする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】活動報告書を書く ・活動報告書は、読み手に活動の内容やそれに対する考えが正確に伝わるように、事実と考えを区別して書く。 ・自分たちの活動や考えが分かりやすく伝わるように、小見出しを立てたり、段落を分けたりする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】表現を工夫する ・どうすると感動が伝わるかを考え、言葉を選ぶ。 ・言葉の順序を工夫する、たとえを使う、漢字、平仮名、片仮名のどれを使って書き表すかなど表記のしかたを考える。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】提案書を書く ・現状や問題点を整理し、提案の理由を明確にして書く。 ・提案の内容は、なるべく具体的なものにする。 ・提案したことが実現するとどんな効果があるのかをしめす。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】グラフや表を用いて書く ・目的に合った資料（グラフや表・図・写真）を選ぶ。 ・資料と文章を対応させて書く。 ・資料から分かることと、自分が考えたことを分けて書く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】表現を工夫して物語を書く ・読み手に物語の設定が分かるように書く。 ・読み手が、情景を想像できるように、登場人物の行動や会話、場面の様子についてくわしく書く。 ・たとえを使ったり、様子を表す言葉を工夫したりする。</p> </div> </div>
<p>六年</p>	<p>○事実と感想、意見を区別して書く。 ○目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりする。 ○グラフや表などの資料を用いて書くときは、目的に合った資料を選び、資料と文章を対応させて書く。 ○自分の考えが明確に表れているかや、分かりやすい表現になっているかなどを確認する。 ○書いたものを発表し合い、目的や意図に応じた文章構成や表現であるかどうかを助言し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】相手や目的を考えて、効果的に伝える ・目的に合わせて、相手の知りたい情報は何かを考える。 ・伝えたいことを、根拠を確かめたり、他と比べたりして選ぶ。 〈パンフレットなどで伝えるとき〉 ・見出しやキャッチコピー、図や写真などを組み合わせて、読み手を引きつける。 ・事物のよさを的確に表す言葉や、具体的な数値を用いて書く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】言葉を選んで、短歌を作る ・短歌は、五・七・五・七・七の三十一音で表す。 ・伝えたい思いやその時の様子を思い出して、言葉を選んだり、並べ方を変えたりするなど工夫する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】説得力のある意見文を書く ・「初め」と「終わり」に自分の意見を重ねて書く。 ・実際にあったことや、それらの記録（具体例・引用など）と、自分の考えを区別して書く。 ・ことなる考えや反論を取り上げ、それに対する自分の考えも入れる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】読み取ったことと感じたことを表現する 読み取ったこと（事実）と感じたこと（感想や意見）を区別し、表現を工夫して書くとよい。 ・全体の様子をまとめて簡単に書いたり、特に注目してほしい部分をくわしく書いたりする。 ・問いかけを入れたり、文末の書き方を使い分けたりする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>【たいせつ】随筆を書く ・出来事などの事実と、思いや考えなどを、どのように書き表すか工夫する。 ・経験したことがらなどが、自分にとってどのような意味をもったのかを書く。</p> </div> </div>